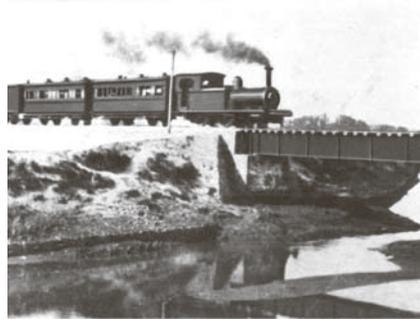


名鉄蒲郡線の歴史

| | |
|-------------|--|
| 昭和4年8月11日 | 三河鉄道により三河吉田駅－三河鳥羽駅間が開業 |
| 昭和11年7月24日 | 三河鳥羽駅－三河鹿島駅間が開業 |
| 昭和11年11月10日 | 三河鹿島駅－蒲郡駅間が開業し、全線開通 |
| 昭和16年6月1日 | 名古屋鉄道と三河鉄道が合併し、三河線の一部となる |
| 昭和22年4月23日 | 東幡豆駅－蒲郡駅間電化、今村（現新安城）駅－蒲郡駅間直通運転開始 |
| 昭和23年5月16日 | 三河吉田駅－蒲郡駅間が蒲郡線となる |
| 昭和28年1月1日 | 休止していた竹谷駅と江畑駅が統合され、塩津駅開業 |
| 昭和33年3月10日 | 観光特急「いでゆ号」（後の三ヶ根・三河湾号）運転開始、名古屋駅－蒲郡駅間直通運転の始まり |
| 昭和35年11月1日 | 三河吉田駅を吉良吉田駅に改称 |
| 昭和42年4月10日 | ダイヤ改正で蒲郡線に7000系パノラマカー営業運転開始 |
| 昭和43年10月1日 | 拾石駅と塩津駅を統合し、蒲郡競艇場前駅開業 |
| 昭和47年4月1日 | 蒲郡駅高架化 |
| 平成10年6月1日 | 西尾駅－蒲郡駅間ワンマン運転開始 |
| 平成12年11月11日 | 蒲郡競艇場前駅－蒲郡駅間高架化 |

「赤い電車」の愛称で親しまれ、観光から通学、通勤など人々の生活の足として長く愛されてきた名鉄蒲郡線が11月10日（木）に全線開通80周年を迎えます。名鉄蒲郡線は時代と共に走り続ける中で、さまざまな変遷をしてきました。全線開通80周年を記念し、名鉄蒲郡線の開業からの歴史をたどってみましょう。



拾石川を渡る蒸気機関車(昭和11年頃)
出典:蒲郡の交通

祝！名鉄蒲郡線 全線開通80周年



名鉄高架化記念発車式(平成12年)
出典:蒲郡の交通



蒲郡駅の7000系特急三河湾2号
名鉄資料館所蔵



今はなき拾石駅(昭和20年代)
出典:蒲郡の交通

赤い電車応援駅前コンサート

蒲郡市ジュニア吹奏楽団と市内中学校の吹奏楽部が名鉄西尾・蒲郡線存続を応援し、利用促進をPRするために、駅前コンサートを開催します。

とき 11月6日(日) ※雨天中止

- ところ
- 蒲郡南駅前広場
(午前10時～10時30分)
 - 三河鹿島駅前
(午前11時45分～午後0時15分)
 - 旧西部市民センター駐車場
(午後2時15分～2時45分)
 - 西浦駅前
(午後3時30分～4時)



木造の駅から高架化まで、蒸気機関車からパノラマカーまで走っていた名鉄蒲郡線が、今後100周年を迎えられるよう、皆さんのご協力と応援をよろしくお願いします。